「最新の繊維高次加工技術」特集

新しい染色加工 VISCOTEX SYSTEM

岸 秀 勝

1. はじめに

当社は、89. 5. 百周年と時を同じくして、「VISCOTEX システム」の完成を公表、テクノポート福井の一区画に敷地を求め、「生活科学総合ステーション」と命名し、90. 10. TPF 工場を竣工、本格生産に入り、92. 3. には商品開発センター棟を完成させています。

「VISCOTEX システム」は、国内外に大きい反響と期待を強く発信、受信しながら今日に到っており、新しい顧客企業との取引、そして斬新な商品創造が進められています。

さて、業界全体を眺める時、いくつかの革新的技術が現実化、また具現化しつつあります。

川上	紡糸の革新
	織編の革新
川中	?????
川下	アパレル CAD の革新
	縫製の革新

当社は、百年川中の位置で蓄積した染色加工技術を核とし、ファッション業界に製造並びに販売の革新を追求し、川上、川中、川下分野に活用できる当システムに到達いたしました。

2. 新たなる発想

2.1 農業的思想からの脱却 (販売からの見直し)

今日、店でみられる商品は大きいスパーン., つくる側からみますと、約2年前から検討されています。

一方、販売する側からみますと、売れなかったら返す商法があります。つくる側は返品されることを見越してつくらざるを得ません。いくらこうしても売れるものは

最盛期には無くなり、二番、三番品を売り、買っていたく事になります。追加注文は、複雑なる流通で時間的に困難となります。

「種を蒔いたら、後は自然にまかせる農業」と何ら変わりがありません。

2.2 委託加工思想からの脱却 「製造からの見直し」

繊維産業は長い歴史と、長い工程を持つ特徴を有しています。この中に委託加工、すなわち、賃加工システムが確立されました。このシステムは、知的部分は原糸メーカー、商社のオーダー側が受持ち、労働的部分は加工する側である機業、染工場、縫製工場が受持つものであります。「このシステムは、すべてを犠牲にしてオーダーをいただく」という不合理きわまりないものです。

今日の社会情勢の変化で、必然的に変化が起きています。

2.3 大量生産思想からの脱却 「消費からの見直し」

消費者ニーズの多様化は、従来の大量生産しか頭においてなかった工場を、効率の悪いものにおいてつづきます。多様化は、ミニマムの縮小という形で、これをクリア出来る製造システムが求められます。

「ファッション産業は、社会が成熟するほどに盛んになります。これをささえる製造体制が対応出来る時、自立可能となります。」

3. 果敢なる挑戦

一瞬にして、心を奪われてしまう、鮮やかなヴィジュアル・シーンは、誰の胸の中にも、必ず在る筈です。

花鳥風月など、自然の造形は、刻々と移り変わる光に演出され、瞬刻の夢幻模様として、深く心に残り、イマ

VISCOTEX SYSTEM

筆者紹介 HIDEKATSU KISHI
Seiren Co., Ltd.

セーレン株式会社 ビスコテックス統括部、部長

本稿では、染色加工工程が今までもっていた問題点の何を VISCOTEX SYSTEM が解決したかについて解説していただいた。

ジネーションを上げてくれるでしょう。

そんな“珠玉”の光景をテクスタイルに表現したいと開発を続けた、VISCOTEX SYSTEMによって、嗜好の多様化、映像による訴求の増加という時代の流れの中で、もっと大胆に、自由に、楽しく、印象的に、新しい“珠玉”をクリエイトしたいという夢に、一歩近づきました。

VISCOTEX SYSTEM 誕生の背景として、北陸福井は高湿度で、絹の織りに適している事に源を発し一世紀、一貫してフィラメント糸をベースに、絹、レーヨン、アセテート、ポリアミド、ポリアクリル、ポリエステル等、あらゆる繊維の染色仕上加工をこなし、ここに技術と技能の蓄積がなされました。

消費商品の横綱、製造製品の横綱のオートモチエの内装材を手掛け15年を経過し委託加工からの脱却が可能となったことがあげられます。

またこのシステムは繊維業界全体への観点、地域社会への観点、企業経営への観点、企業に集まる若き人に対する観点を凝縮にタタをなしたコンセプトであり、「生活科学総合ステーション」、「テクスタイル・プランニング&マニュファクチャリング・システム」と云えます。

3.1 VISCOTEX SYSTEM の構成

企画提案製造をなすこのシステムは、従来にない新しいSOFTとHARDより形成されます。これらは、いくつかのグループに機能が分けられています。

- (1): ファッション、インテリア等業界へ企画、提案製造、卸、小売。
- (2): 独創性ある素材製造と供給。
- (3): 差別化された色素材、仕上げ材料製造と供給。
- (4): 主要装置の開発・製造と供給。
工場設計並びに管理設計。
- (5): 差別化されたCAD開発と供給。
工場管理ソフト開発。
- (6): 縫製による特価製品の製造と供給。

この中であって、初期段階に於いて、ケミカル、装置、システムを“3つの内製化”として力が注がれました。

ファッション、インテリア業界は、基本的には染色・後染という区分と、無地染、捺染という区分があり、それぞれに各種の技術が確立されています。これらの技術は、繊維毎、素材組織毎、用途毎で異なり、これらの組合せを従来の技術で一工場でなす事は、専門家であればどれだけの設備が必要であるか計り知ることができません。

素材・色・柄のコーディネートを考える時、同調した製造システムが必要となります。無地染はピーカ

染、正染、大口染と比較的簡単に製造技術と経費・時間管理が可能です。しかしながら、捺染は、見本加工、着分加工、大口加工と製造技術よりも経費・時間管理が問題になります。

もっと現実的に、羊毛は中京、コットンは阪神、ポリエステルは北陸地区にそれぞれ無地染・捺染を注文する従来型の企画を考える時、染色会社は数～十数社になることがあります。これは多品種小ロット加工にかかわらず、大問題であるといえます。多品種小ロットへの移行は、企画しても誰もやってくれないことになりかねません。

セーレン(株)の企画・提案・製造は次の様に配置されています。

企画：商品開発部門管轄下 東京青山、原宿、名古屋、神戸、福井、ミラノ

提案：営業部門管轄下 東京、大阪、米国、ミラノ、香港

製造：生産部門管轄下 TPF 工場

企画部分に説明を加えますと、CAD装置とデザイナーが青山、神戸等に配置され、顧客企業からのデザイン作成、先方デザイナーとディスカッションしながらの作成が可能です。

当社の場合、この様に加工されたデザインはダイレクトにファブリック染色に結びつき、従来のCADは、「イメージCAD」を脱し得ないのに対し、デザイナーの心と意思を表現する「リアルCAD」です。これは従来の既成、捺染柄の概念を打ち破り、デザイナーに高く評価されています。

一方、CAD装置は顧客企業内にも設置し、デザインのやりとりはペーパーフィルムでなす方法は無くなります。

3.2 企画提案(型)製造・卸・小売業をめざして

繊維産業において、テクスタイルでの商いと、商品での商いでは先述の原理原則で利潤配分・リスク等全く異なります。

前者は古い商いの延長ですが、後者におけるアパレルメーカーの多数設立、DCブランドSHOPの登場は、製造する悩みを抱えたまま販売する形態を形づくることになりました。

「販売のおに」(株)三愛 田中氏の指摘によれば、ファッション小売には2つ盲点があるといい、1番売れすじの商品が手に入らない。売れすじの商品を補充しようにも、売れる時期に間に合わない……。売れすじの商品は売る前段階ではわからない。売るシーズンの一日一日の店の統計の集計によって傾向と結果がでてくる。

小売側はどうしたいかははっきりしている……。

図1 新システム稼動前の注文から販売までの流れ

図2 新システムとセーレンが描く将来のシステム像

一方、業界における企画、提案は製品寿命が短いため、経費と時間をかけるには不合理点が多い。ファッション製品の中で、真の企画・提案をし、第一期商品を出している企業は極めて少ない。

この企業がどうしたいかははっきりしている……。VISCOTEX SYSTEMは、上記2つの悩みを即刻解決することを可能とし、理解ある顧客企業とは、新しい商取引条件で取組みがはじまっています。

4. VISCOTEX SYSTEMの情報公開

VISCOTEX システム開発

(染織経済新聞その他 4. 26. 1989)

織研新聞社 89'織研合織賞(特別部門)授賞

(3. 22. 1990)

デザインと生産の直結で繊維業界の構造を揺るがす基盤を完成

(NIKKEI COMPUTER 12. 17. 1990)

JAPANTEX91'

(第10回インテリアファブリックショー 1. 31. 1991)

'91東京クリエイション大賞開発賞授賞

(東京ファッション協会 11. 14. 1991)

ファクトリーブティック

(テレポートよこはま91'イベント 11. 20. 1991)

JAPANTEX92'

(第11回インテリアファブリックショー 1. 29.

[992]

おわりに

繊維産業の川中をつかさどる「染色加工業」は、3Kで代表され、将来、就業の問題を抱えています。

一方、韓国、台湾、東南アジア諸国での染色加工企業も増えつつあり、国内の企業の存続の危機も予想されましたが、その気配はまだ小さいといえます。

ファッション産業は、歴史と社会と経済の3つのバラ

ンスのとれた国とその圏内に在る国に生まれ育ちます。歴史的経過からみた時、日本にもその条件が確立されたといつてよいかもしれません。

繊維産業全体を眺め、川上、川下に革新技術が現実化されつつある間で、当社の開発した VISCOTEX SYSTEM は川中の革新技術としての正当な位置付けを得るものと信じています。

(平成4年5月6日受理)

92/3 高分子可能性講座**—CRTを超える液晶ディスプレイ—**

主 催 高分子学会 行事委員会

協 賛 繊維学会ほか

日 時 1992年9月10日(木)～11日(金)

会 場 ダイアモンドホール

(東京都千代田区霞ヶ関1-4-2 ダイアモンドビル10階 ☎03-3504-6881)

参加要領 1) 定員100名

2) 参加費 会員(含協賛学協会会員)会社30,000円、大学・官公庁10,000円、学生3,000円会員外60,000円

3) 申込方法 氏名、勤務先、連絡先、電話番号、所属会員番号、振込予定日をハガキに明記しお申込み下さい。

連絡先 〒104 東京都中央区築地2-4-2 築地第3長岡ビル

☎高分子学会 92/3 高分子可能性講座係

☎03-3543-7857

平成4年度京都工芸繊維大学 市民公開講座**—近代生活の中の繊維—**

主 催 京都工芸繊維大学 繊維学部および同大学 地域共同研究センター

日 時 平成4年8月26日(木)、27日(木)の2日間

会 場 京都工芸繊維大学センターホール

参加要領 定員：200名(現金書留郵便による申し込み先着順)。

参加費(講義テキスト代・消費税を含む)：3700円

申し込み方法：住所(連絡先)、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、宛名を記入した返信用封筒と参加費(3700円)を添えて、必ず現金書留郵便にて、下記宛に郵送して申し込んでください。

申し込み期日：7月1日～8月10日。

申し込み先：〒606 京都市左京区松ヶ崎 京都工芸繊維大学繊維学部市民公開講座係 (☎075-791-3211 [内線703～707], FAX 075-702-4404)